



和氣さんの手のひらから餌を食べるヤマガラの子ども

広報

肱川

2002 (平成14年)

7月

- あなたの声から始める町づくり
- 21世紀の安定した生活基盤づくり
- やさしさと思いやりのある町政

232号
今月号の主な内容

- 町報
 - ・山鳥坂ダム計画再構築計画案公聴会 … 2～3
 - ・町議会6月定例会 …………… 4～7
 - ・風の画家中島潔展ご案内 …………… 9
 - ・消防吏員採用試験案内 …………… 10
- 森林組合だより
 - ・肱川町椎茸生産販売協議会通常総会 … 13
- 公民館報
 - ・町内バレーボール大会開催 …………… 14
 - ・第4回手話教室開催 …………… 15
- 社協だより
 - ・社会福祉協議会ってなあに? …………… 18

町民の動き

人口 … 3,154人(－11)
 男 … 1,510人(－7)
 女 … 1,644人(－4)

世帯数 … 1,089世帯(－1)
 (平成14年6月30日現在)

ヤマガラに餌づけ

和氣ゆりゑさん(肱栄)は今年の3月頃から家のベランダに餌台を作り、ミカンやヒマワリの種を置き続けたところ、ヤマガラの子ども5羽が家の中にまで入って餌を食べるようになりました。今では、皮をむいたヒマワリの種を和氣さんの手のひらに乗って食べるほどなついています。

自然と一体になったサンクチュアリ(聖域)のようなその空間に居ると、人も鳥も自然の一部であることを実感します。



山鳥坂ダム計画再見直し案公聴会 賛成、反対 各5人が意見発表



5月13日に大洲市、喜多郡の肱川流域市町村で組織する山鳥坂ダム建設対策協議会の理事会において、国土交通省より「山鳥坂ダム計画の再見直し案」が提示されました。その後、各流域の自治体において、住民説明会が開催されました。

6月11日、山鳥坂ダム建設対策協議会の主催による再見直し案についての公聴会が風の博物館において開催されました。公聴会には、国土交通省、愛媛県、流域市町村の首長、議会議員、自治体職員、傍聴人を含む223人が出席。公述の申し出があった43人の中か

ら選ばれた、流域住民10人が、賛成、反対双方の立場から、1人10分以内で再見直し案に対して意見を述べました。その概要を紹介します。

1 梅木 正氏

(河辺村)

今回の再構築案の内、治水対策の中心は堤防建設計画の早期達成と野村ダム、鹿野川ダムの運用改善を中心に行うべきであり、新たなダム建設には反対である。

ダム建設計画が発表されすでに20年が経過。それにもかかわらず流域住民の同意が得られていない。山鳥坂ダムの流域面積は5%しかなく治水効果が疑問視される。洪水対策はダム建設以外の方法で十分対応できる。清流を取り戻すためにダム建設というのは常識に合っていない。下流域の堤防建設計画と県道小田・河辺・大洲線の早期達成を願う。

2 露内 進氏

(河辺村)

治水環境に配慮したダ

ム建設により、下流の尊い人命財産を洪水から守る上で、野村ダム、鹿野川ダム、山鳥坂ダム建設、それと堤防整備が必要。また、ダム建設による付替え県道の早期着工を強く願う。水源かん養による水質保全については補助事業等により県下でも類を見ない位の取り組みをいただいている。安定した水の確保は、上流に住む我々の手によって進められるものである。肱川は県下一の清流と言われ、森を荒廃させないように守っていかなければならない。

3 古久保成三郎氏

(大洲市)

日本政府が財政再建策も示さず、このまま国債の増発が続けば返済不能になると外国の格付け機関が新聞で警告している。山鳥坂ダム問題は、構造改革を問うメルクマールとして、国際社会から突きつけられ、ダムは詐欺的な計画と書かれてあった。ダムを必要とするような洪水調節効果、能力は山鳥坂ダム自体にはな

4 藤岡 秋雄氏

(長浜町)

私は思い出したくない洪水の経験を3度いたしました。昭和18年、20年にはかつて経験したことのない大洪水。昭和43年には大和川が氾濫し、隣の家が流され、次は我が家かと思う時の恐怖感は今もって忘れることができません。私たちの地域ではその洪水の経験を生かし行政当局に対し、安心して暮らせる地域を願う、宅地の嵩上げを要望、昨年度から事業が開始され大変感謝している。ダム建設は確かに河川を分断し生態系に影響を与える部分があると思いません。汚濁の原因が我々の生活や産業活動によるものである事を理解されな

いことは非常に悲しい。今回のダムと堤防整備を主体とする案には私たちの生命や財産がかかっている。今後とも流域は一つという姿の中で事業のご理解とご協力をいただきたい。

5 池田 亀菊氏

(大洲市)

山鳥坂ダムが治水のために必要だと言われる理由は現実にはあり得ない。不可解な理論です。洪水調節効果量も適切なものであるとはいえない。ダム建設から肱川を守ることは、今この地に住む者としての責務である。ダムが清流を駄目にするとは鹿野川ダム、野村ダムで実証済みです。山鳥坂には絶滅危惧種に指定されている生物が多く生息している。川の果たす使命というものについて考え直してください。大切にお願いしたい。

6 長岡正太郎氏

(大洲市)

昭和18年、20年の大洪水では、助けを求め船で救出されるのを目のあた

りにした。多い年には7回も水害を受け挫折を繰り返してきた。先人たちも過去に多くの人命や財産を失い、精神的にも経済的にも言葉では言い尽くせない苦痛を味わってきた。早く治水事業に伴う施策の実施を願っている。中予分水は中止となり流域にとっては良い結果となった。今回が最後のチャンスととらえている。この期を逃したら下流域の治水は100年200年先になるかわからない。流域自治体は実現に向け一層の努力をいただき、諸問題の解消に不転の決意で計画実行を切望します。

7 前田 益見氏

(大洲市)

平成6年から肱川のこのことについて調べてきた。これまでの洪水や水害を考えるとダムは役割を果たしてきたのか。今の肱川には大きな問題がある。50000トンの洪水にどう対応するか。清流肱川を鹿野川ダムの有害汚水からどうやって回復するか。戦後の洪水は堤

防整備で十分。鹿野川ダムは夏場水を貯めないで流す。ヘドロの除去には多額の経費がかかるが、地元の企業の方には非常に魅力がある。洪水の時に放流できる設備を新しくつくる。今の再構築案では残念ながら肱川はひとつも良くなりません。ぜひ、私の提案を真剣に検討していただきたい。

8 石川 淳郎氏

(大洲市)

平成7年に肱川を守る会の会長として中予分水計画に対し2万の陳情をもって反対した。今回は、山鳥坂ダムと鹿野川ダムを一体として考え、治水・環境の両面に配慮してあり、明らかに期待できると思う。ダムのことを全く知らない方が反対されている。ダムの効果というものは広さで決まるものではない、大きさ貯水規則等によって決まる。ダム問題を環境対治水という形で見るのは間違っている。環境面でも治水面でも明らかに今回の計画は優れている。この計画が実行されなければ肱

川はアユの棲めないドブ川になっていくだろう。

9 三瀬 喜盛氏

(肱川町)

私は鹿野川ダム水没者です。鹿野川湖遊覧船の船長、ダム管理事務所管理人をやり、様々な洪水、放水、放流を見てきた。ダムの上流はヘドロの海、上流から浮遊物の繰り返し。ダムをつくると、いかにきれいな川であるうと汚染は同じ結果です。国土交通省は子供だましみたいなのです。今までにヘドロを一度でも除けたことがございますか。私は納得できません。今回の案は4割カットされ容量が少なくなっても下



流の治水には影響ないと言われます。肱川町に廃棄物処理場を絶対つくりたくないでほしい。

10 城戸 由幸氏

(肱川町)

二十数年にわたり経緯をつぶさに見てきた水没地区住民として、当時は地域も反対し、永い歳月、ダム問題に振り回されてきた。そうした中で、町の考えが少しずつ地域の中に浸透し住民総意のもと受入れを決定した。下流域では異議が唱えられたことにより建設問題は進展せず、家屋の修築、公共施設、県道改良は全く手付かずのまま水没住民は犠牲を払ってきた。現状維持では問題解決にはならず病める肱川を放置するだけです。水没地域の20年の苦しみも理解していただき、早期問題解決を図り、ダムの早期着工を望みます。

山鳥坂ダム建設対策協議会は、これを参考に、再見直し案に対する流域の意見を集約して、国土交通省に要望します。

市町村合併の枠組みについて 町長が表明

「大洲市・喜多郡で」

町議会6月定例会が、25日、26日の2日間の会期で開かれ町長から提案された専決処分5件、報告4件、議案8件が上程され審議の結果、いずれも原案どおり承認、可決されました。

また、議員提出の「牛海面状脳症（BSE）対策に関する意見書」、「森林・林業・木材産業活性化に関する意見書」及び「道路特定財源制度に関する意見書」が採択されました。

今回議決された主なものは、固定資産評価審査委員会委員の選任、条例の廃止2件の他、法定外公共物譲与申請業務委託費3990千円、農業委員会選挙費2097千円、防火水槽整備事業7560千円等。

一般質問は、山崎議員から市町村合併について7項目に渡って行われました。

町長から、26日の最終日に「市町村合併」について、市町村が効率的・効果的な体制を構築し、行政サービスの維持向上に向け、合併による行政基盤の強化は不可欠だ。県の基本パターンである大洲市・喜多郡での合併を目指したい。対等合併が合併の基本であるとの表明があり同意されました。

一般質問

山崎 逞議員

○ 市町村合併について

町長の選挙公約でもある合併問題に積極的な姿勢を打ち出され、早い時期より住民アンケートをとり三つの合併問題の検討会も立ち上げ、また、

2月、3月にわたっては各地区での説明会や意見聴取の懇談会も一応済まされ、1000人委員会の検討結果の報告も出て住民も国の厳しい財政事情、社会の経済情勢等からして、現状の平和な肱川町でやっていけるのならばこのままでいきたいが、大きな合併の流れの中で仕方ない、やむをえない

という気持ちが醸成されつつあるというように思われますが、なお、住民には具体的に合併後の肱川がどうなるのか、過疎高齢化がますます加速され、周辺部となる地域が荒廃してしまうのではな

をとらえられている以上、肱川の将来像、合併後の姿を描いておられると思います。先日の郡の町村会では、大洲市長も参加され合併問題も協議されたようでありますが、内子、五十崎は基本パターンでの合併に加わらないということ、大洲、長浜、肱川、河辺のみで7月より事務レベルの準備を進め任意協議会を省いて、早急に法定協議会に入るとの申し合わせをされたようであります。平成17年1月合併というタイムリミットに合わせ急速に動こうとしております。法定協議会の中で合併後の新市町村建設計画、将来構想が協議されるわけですが、今の時点での町長の頭に描いておられる肱川像、将来構想を示し住民の不安を払拭し、前向きで全町民が議論し、足並みを揃えて進むようにすべきと考えます。

「あなたの声からは
じまる 肱川町政」ということで皆さんの意見を聞いて将来像をつくりあげると言われるかとも思いますが、町長のリーダーシップもあり急ピッチで進んでいる訳であります。現時点での町長のお考え見通しを承りたいと思います。
特に、次のことについてどのようにお考えでしょうかお伺いをしたいと思います。

1 町内4つの幼稚園、小学校が現在有る訳ですが、これらは合併に伴いどうなるのか。

2 風おこし、町おこし、地域づくりの拠点としての公民館活動があったと思います。

地域づくりの分館活動もあつたと思えますが、こういうことをどうお考えになつておられるか。

3 集落再編の問題。この問題も、以前私も質問したことがあります。が、こういったことも



またおこつてくると思いますがどう考えておられるか。それから、ただ今の学校、公民館、集落再編にともないまま、集会所といった各施設の改築や改修、新設、新築といった問題が、生じて来ると思いますがこれらにはどのような対処されるのか。

5 鹿野川中心部はどうなるのか、現在も大変沈滞ムードですが合併後役場の機能縮小あるいは、森林組合、農協の支所ということでもすまず空洞化するのはないかと思われませんがその点はどうお考えでしょうか。

6 消防団等の各組織の再編の問題はどうなるのかお考えをお伺いしたいと思えます。

7 農林、商工観光の振興活性化はどうお考えか。
以上の件について具体的な町長のお考えをお伺いいたします。

〔町長〕

4 道路、交通手段の整備はどうなるのか。これらも県道の改良事業等、県の方も配慮いただいておりますが、まだまだ未整備のところが多くある訳でございますがその点をどうされるのか。

ただ今の山崎議員の質問は、非常に当を得た質問であろうかというふうに思えます。質問に対してお答えをいたします。

7項目の具体的事項があった訳でございますが、その答弁の前に前段におきまして、内子・五十崎あるいは大洲市の法定協議会等々のことがこの質問にありましたが、このことに関しましてまずお答えをしておきたいと思えます。

ご案内のように大洲市、喜多郡の市町村長会がありまして合併問題についての協議をいたしました。マスコミの報道には今、議員が言われたようなことがあったように思う訳でございますが、内子・五十崎の合併が決まった訳では決まっております。ただ、内子・五十崎につきましては、できれば2町で合併をしたいというお考えがあることは事実でございます。まず五十崎町におきましては過日の新聞報道にありましたように、まったく調整がつかない段階に今、入っておるというところでございます。そのことは、町長ご自身からもそのような発言がありましたので、今後、五十崎の宮岡町長が考えて

おられる内子との2町の合併についての議会あるいは住民のご理解が得られるべく努力をするということとです。その場で、内子町長さんも五十崎の宮岡町長さんに対して、あなたとが早く方向付けをしてくれなかつたら、わたしところは困る。まだ、小田との話も済んだ訳ではない、早く五十崎が答えを出して欲しいという要請を内子町長は五十崎町長にされておりました。その中で私と長浜町長とは県の基本パターンというところで発表をいたしました。河辺村におきましては村長はそのように(基本パターン)基本的に考えている。しかし、まだ、議員全員協議会で決定を見てないから、それが済んでから発表しますということでした。

そのようなことで私どもは大洲市も含めまして、いつでも内子町さん、五十崎町さんも受け入れの門戸は広く開けて待つております。ですからできる事なれば県の基本パターンのように大洲市喜多郡が一緒になりましよう、ということを私どもは話をいたしました。そういう状況でございます。

それから大洲市が10月に法定協議会をとということでございますが、言われるように大洲市の合併スケジュール表によりまして、10月に任意協議会をもたずにいきなり法定協議会にということも出されております。しかし、これはまあ、考え方でございまして喜多郡の申し合わせ事項は9月に任意の協議会を立ち上げて12月に法定協議会を立ち上げるといふスケジュール、大洲市のスケジュールは任意協議会を立ち上げずに10月に法定協議会を立ち上げる、ということとで、任意はあくまでも、任意でございますのでやらなければいけないということとはございません。



ですが、私や西田町長はやっぱり任意の協議会をもってある程度そこで準備をして法定協議会に持ち込む方がいいんじゃないかということ、その席で申し上げました。まあ、どちらになっても法定協議会を長期間とするのもいいでしょうし、任意の協議会をもって法定協議会を2年間ということでもやるのもいいでしょう。

現実に法定協議会を立ち上げて協議をしておられるところの町長さんあたりに聞きますと、22ヵ月では大変難しい、2年

以上もった方がいいというようなことは聞かされております。

そういう状況でございますので、任意協議会につきましてはさほど重要な問題ではないと私は思っております。要するに法定協議会を立ち上げて最低2年あるいは2年以上の時間を要しなかったら十分な準備ができないというふうに思っております。

以上のようなことが過日の新聞報道にありました。実質その場で発言をし、その場でお互いの話を聞いたことが事実でございますのでそのようにひとつご解釈を願いたいと思います。

それで、具体的な質問についてでございますが、まず第1点目の町内の4つの幼稚園、小学校はどうするのかということでございますが、各地域にあります幼稚園、小学校は子供たちの学習の場だけではなく、地域コ

ミュニティの中核施設としての重要な役割を担っております。

しかし、現状の小規模複式学級等のことを考えるとデメリットもあることが事実でございます。これらを総合的に考えてみる事も重要であると思っております。将来におきましてはそのことを考えなければならぬ時期が参りました時点で地域の方々や関係機関、議会の皆さん方の声を聞きながら検討をしていきたいと思っております。

参考までに申し上げますと、現在中野幼稚園が22人、正山幼稚園22人、大谷幼稚園6人、予子林幼稚園4人合わせて54人の園児が在籍をしている訳でございます。小学校におきましては、中野小学校が69人、正山小学校が60人、大谷小学校が25人、予子林小学校15人、合計169人となっております。今後におきましても、

見込みといたしましては途中で少し、人数が増える時期がございますが、また、ずっと下がっていくというような予想でございます。

こういったことを念頭におきまして私は政策として上げました過疎対策、少子高齢化対策を積極的に進めていかなければならないというふうに思っております。

2点目の風おこし、町おこしの地域づくりの拠点としての公民館はどうかという質問でございますが、現段階の考えを申し上げますと、今回国が進めております市町村合併の最大の狙いはスケールメリットによる財政改革いわゆる財政の合理化であることは皆さん周知のとおりであります。そういった観点から申し上げますと人口割等から考えて現在の公民館や分館がそのままの形で存続することは考

えにくい状況と言えるのではないかと思っております。

今、私が考えておりますのは、公民館の存続よりはむしろ自治会組織でございます。当町には大谷自治会という立派なモデルがございます。これを町内の各地区に組織化することによって、現在の公民館のもつ役割も吸収し、さらに今、行政が行っている業務を分担して行うことにより、合併後において住民サービスが低下しないようなあらゆる手立てを講じなければならぬと考えておるところでございます。今、大切なことは自分たちの地域は自分たちでつくるという自治意識が大きなウエイトを占めるのではないかと思います。その意識の高さが望ましい地域づくりのあり方を構築していくのではないかと考えております。

3点目の集落再編の問



題でございますが、現在の部落長制度は全国に誇れる制度であると思っております。しかしながら戸数の少ない部落については当然ながら再編・統合が必要と思われれます。二つ目の問題と関連をいたしますが、しっかりと自治会組織をつくることにより部落再編もおのずと出来るものと思っております。そうしながら現在の施設の改修でよいのか、また、新たな施設を造るべきか検討して行かねばならないと思っておりますので、今後議会の皆さん方と十分協議

をしてそしてまた、地域の皆さん方の声を聞いてまいりたいと思っております。

4点目の道路交通手段の整備でございますが、現在、国・県道の整備については順次県の方で対応していただいております。町としましては特に用地関係の協力を求められており取り組んでいるところでございます。今後とも整備の推進がなされるよう地元として一層協力をして参らなければならぬと考えております。また、町道や農林道につきましては各種補助事業での対応、また、町単独としても取り組んでまいりたいと思っておりますが予算との関連も考慮して整備をしていかなければならないと思っております。幹線道路の整備につきましては現在4人の町道整備員や森林組作業班等で対応をしておりますが、充実していると思

ましては関係機関等で検討し、よりよい方法で取り組んでまいりたいと考えております。バス路線の確保は高齢化の中で重要な課題だと思っております。今後とも路線確保については関係機関で協議の上、働きかける努力をしてまいりたいと考えております。

5点目の鹿野川中心部はどうなるのかというご質問でございますが、このことにつきましては、県道の拡張問題また特に重要な課題として山鳥坂ダムが建設されるのか、されないのかで大きく変わってまいります。ただどのようになっても肱川の中心地域としての重要な地位にあると認識をしております、今後とも中心地域としての機能を持たさなければならぬと考えておるところでございます。

6点目の消防団組織についてでございますが、消防団については合併後

は統一的な組織となり、肱川町独自の体制運営はできなくなると予想されます。現在の5分団の組織についても一部再編の必要性があると考えられます。住民が安心して暮らせる地域づくりにかかせない消防団でございます。今後、議会・部落・消防団との協議の中で対策を考えてまいりたいと思っております。

7点目の農林・商工観光の振興活性化についてでございますが、補助金や助成金の支出につきましては、かなり厳しくなると予想されます。合併後も現在の肱川町が活性化していくためには補助金に頼らない足腰の強い基盤が必要であろうと考えております。現在道の駅商業集積等を整備しておりますが、なお一層その利活用を図ると共に今後におきましても必要な基盤整備を積極的に推進していきたいと考えております。特にこの質問に

つきましては山鳥坂ダム建設問題がどのようになるのかによって、いつも言われておりますように町の振興策が180度転換をしようと思っております。今は建設推進の決断が下ることを悲痛な思いで願っております。以上7項目の質問に対して現在の私の考え方を申し述べましたが山崎議員の質問内容は具体的な事項が多く、また、肱川町独断で決定できない問題が多いと思っております。しかし、議員の心配は当然のことでございます。ご質問の多くは法定協議会立ち上げ後新市町村建設計画策定中の協議事項でございます。今後、議会・理事者一体となって悔いの残らない合併となるよう努力していきたいと思っております。

以上、簡単でございますが山崎議員のご質問に対してのお答えといたします。

鹿野川夏まつりのご案内

恒例の鹿野川夏まつりを8月10日(土)に下記の日程で開催します。皆さん、お誘い合わせてお越しください。

◎あゆとうなぎのつかみ取り

あゆとうなぎのつかみ取り大会を役場裏の河川で行います。入場料は次のとおりです。お得意な前売券を発売しておりますので、どうぞご利用ください。

〈入場料〉

中学生以上18歳以下の方

800円

(前売1000円)

小学生

400円(前売500円)

※小学生未満は無料

(ただし親同伴)

前売券発売所

- ・JA愛媛たいき肱川中央支所
- ・道の駅清流の里ひじかわ
- ・川上商工会
- ・役場産業課

鹿野川夏まつり行事内容 (小雨決行)

行 事 名	時 間	場 所
弁天宮祭典	11:00~12:00	上鹿野川弁天宮
あゆとうなぎのつかみ取り	13:00~14:30	役場裏特設会場
びっくり市(生ビール・そうめん流し・焼肉ほか)	12:00~	鹿野川商店街
くじ付もちまき	15:00	盆おどり会場
七夕コンクール	審査13:00~ 表彰16:30~	鹿野川商店街
文化協会発表	17:00~20:00	鹿野川商店街
盆おどり	20:00~20:40	鹿野川商店街
花火大会	21:00~21:40	肱川中下河原

第7回 ドラゴンボート大会

鹿野川湖で、町内外からの参加者相互の交流を深め、親睦を図るとともに、肱川の豊かな自然を楽しんでいただくことを目的に、今年も「ドラゴンボート大会」を開催します。



太鼓の音が響く中で繰り上げられる勇壮なボートレースをお楽しみください。

【開催日】8月11日(日) (雨天決行) 午前9時開会

【会 場】鹿野川湖漕艇場

【問い合わせ先】産業課内(ドラゴンボート大会事務局)

☎ 34-2311 (内線210)

7月は河川愛護月間です
水辺にやすらぎ、心にゆとり
一人一人が愛護の精神で、河川清掃等にも積極的に参加してみんなで河川を守っていきましょう。

住民基本台帳

ネットワークシステム

8月5日スタート

今後、行政機関(国・地方公共団体など)では、住民の皆様からの各種の届出・申請などの際に、提出をお願いしていた住民票の写しの代わりに、ネットワークシステムから氏名、生年月日、性別、住所などの本人確認情報の提供を受けることが可能となります。

もうすぐ3歳

やまうち あいか
山内 愛佳ちゃん
(月野尾)

平成11年11月16日生



はじめまして、愛佳です。
かえるや虫が大好きで毎日お
もてで遊んでいます。大好き
な昆虫図鑑を見ながらこれな
んだと楽しそうにおしゃべり
をしています。

父 卓司さん・母 美智恵さん

風の画家

中島 潔 展

ふるさと
故郷の風



開催期間 平成14年7月27日(土)～平成14年8月25日(日)

《入館料》

一般 500円
小・中・高生 250円
(15人以上団体割引あり)

肱川町郷土文化センター

(風の博物館・歌麿館)

☎ 34-2181

夏の感電事故

防 止

夏は水を使う機会が多い。うえに、暑さで汗をかきやすくなるため感電事故が多発しています。



「ぬれ手に電気」、「ぬれ手にプラグ」が危険なことは、十分ご承知でしょうが、ついウっかり差し込みプラグやソケットにぬれ手で触ることがあります。

電気製品を扱う時は、忙しい時でも、手をよく拭いてから取扱う習慣をつけましょう。

財団法人 四国電気保安協会
愛媛支部（大洲支所）
☎ 23-5012

平成14年度大洲地区広域消防事務組合 消防吏員採用試験案内

- 採用予定人数 1人
- 受験資格
 - (1) 日本国籍を有する心身ともに強健な者
 - (2) 昭和52年4月2日以降に生まれた者で、大学、短期大学又は高等学校を卒業若しくは平成15年3月末までに卒業見込みの者
 - (3) 地方公務員法（昭和25年法律第261号）第16条各号のいずれにも該当しない者
 - (4) 採用後は、大洲市、長浜町、内子町、五十崎町、肱川町及び河辺村のいずれかに居住可能な者
- 試験の期日・場所・合格発表

区分	期 日	場 所	合格発表
第1次試験	平成14年9月22日(日) 午前9時～午後5時	大洲消防署 3階会議室他	平成14年10月上旬に 可否の通知をします。
第2次試験	平成14年10月下旬予定（詳細については 第1次試験合格者に通知します。）		平成14年11月上旬に 可否の通知をします。

- 受付期間
平成14年7月8日(月) から平成14年8月23日(金)
- 問い合わせ先
大洲地区広域消防事務組合消防本部総務課
☎ 0893-24-0119

平成14年度 自衛官等募集案内

募集種目	資 格	受付期間	試 験 日
航空学生	高卒(見込含) 21歳未満	8月5日 ～9月6日	1次 9月21日 2次 10月12日～17日 3次 (空) 11月10日～12月6日
看護学生	高卒(見込含) 24歳未満	9月12日 ～10月11日	1次 10月22日 2次 11月22日・23日
一般曹候補学生	18歳以上 24歳未満	8月5日 ～9月6日	1次 9月16日 2次 10月2日～8日
曹候補士	18歳以上 27歳未満	8月5日 ～9月6日	1次 9月16日 2次 10月2日～8日
2等陸・海・空士	男子	18歳以上 27歳未満	年間を通じて行 っております。受 付時にお知らせ します。
	女子	18歳以上 27歳未満	8月5日 ～9月6日
9月24日・25日			
問い合わせ先 創造課 ☎ 34-2311・自衛隊大洲募集事務所 ☎ 24-4123			

人権相談所開設のお知らせ

- 日 時 8月1日(木)
9:00～12:00
- 場 所 肱川町公民館
- 相 談 員 人権擁護委員 中塚 忠氏
谷田 善和氏
- 相談内容 差別、家庭内の問題、近隣の紛争、借地・借家、児童・生徒のいじめ・体罰、交通事故など
- そ の 他 秘密は厳守いたします。
相談料は無料です。
お気軽にご利用ください。

おわびと訂正

6月号5ページ「健康行きバスに乗って」の藤川良馬さんの名前が間違っていました。おわびして訂正いたします。

サマージャンボ宝くじ

サマージャンボ宝くじの賞金は
1等・前後賞合わせて3億円。 2等も1億円。

- 発売期間 平成14年7月22日(月) から8月9日(金) まで。
- 抽せん日 平成14年8月20日(火)

肱川分校生 11人 全国大会へ

全国高等学校校定時制通信制体育大会の県予選が、6月8日～9日、松山市で開催されました。肱川分校には現在、卓球とバドミントンの2つの部があり、昨年の秋の

* 全国大会出場生徒 *

《卓球》

男子個人 (3位) 寺崎 健展くん (1年)
女子個人 (3位) 織田恵理子さん (4年)

《バドミントン》

男子シングルス (3位) 野本 尚くん (3年)
男子ダブルス (優勝) 水本 裕也くん (2年) 西本 聡くん (4年) 井脇 武志くん (3年)
女子シングルス (優勝) 平 奈緒美さん (4年) (3位) 城滝 恵美さん (3年) 同 向井 梨菜さん (3年) (優勝) 菊池 裕美さん (4年) 大瀧 砂織さん (3年)



全国大会は、卓球が8月5日から8日まで、東京都の代々木第二体育館で、バドミントンが同じく18日から21日まで、神奈川県小田原市の小田原アリーナで行われます。昨年はバドミントン女子シングルの平奈緒美さんが、全国のベスト16に入る大活躍でした。昨年以上の成績をめざして頑張ってください。

花火による 火災の防止について

夏の風物詩「花火」、子供達にとって、家の庭先やあき地で行うおもちゃ花火は、それなりの楽しみがあります。ところが、毎夏、必ずといってよいくらい、花火によるケガと火事騒ぎが起こっています。これでは、せつかくの花火もだいなしです。

大人と一緒に参加し、花火を正しく使って、子供たちに夏休みの楽しい思い出として、残してあげたいものです。

正しく使って楽しい花火

- 花火に書いてある遊び方をよく読んで必ず守りましょう。
- 花火を人や家に向けたり燃えやすいもののある場所で遊んだりしないようにしましょう。
- 吹き出し花火や打ち上げ花火は、途中で火が消えても、のぞかないようにしましょう。
- 水を用意し、遊んだ後は水につけ、後始末を必ずしましょう。
- たぐさんの花火に、一度に火をつけないようにしましょう。



土砂災害の心構えと注意

いざという時の心構え

恐ろしい土砂災害を防止するために、現在さまざまな対策が行われていますが、それだけでは十分に災害を防ぐことはできません。

被害を最小限に抑えるためには、一人ひとりが気象情報等に注意して早めに避難することが大切です。

雨に注意していますか？



土砂災害の多くは雨が原因で起こります。長雨や大雨で危険だと思ったら、早めに避難しましょう。1時間に20ミリ以上、または降り始めてから100ミリ以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。

逃げ方を知っていますか？



土石流は速度が速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。

避難場所は決まっていますか？



普段から家族全員で避難場所や避難する道順を決めておきましょう。災害が起きる時、家族全員がいっしょにいるとは限りません。そんな時あらかじめ避難場所を決めておけば安心です。

危険！こんな前ぶれに注意

土石流



- 山鳴りがする
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
- 川の流れが濁ったり、流木が混ざりはじめる

地すべり



- 地面にひび割れができる
- 沢や井戸の水が濁る
- 斜面から水がふき出す



がけ崩れ

- がけからの水が濁る
- がけに亀裂が入る
- 小石がパラパラ落ちてくる

森林組合だより

編集・発行
 肱川町森林組合

第39回肱川町椎茸生産販売協議会

通常総会開催

6月12日、鹿野川荘において肱川町椎茸生産販売協議会の第39回通常総会が開催されました。森繁夫会長、河野美治森林組合長のあいさつの後、八幡浜地方局大洲林業課池田暢課長や久保田仁之町長をはじめ、ご来賓の



方々から祝辞をいただき、議長に福山保氏が選任され、第1号議案から第5号議案まで原案通り可決されました。

議事終了後、愛媛県森林組合連合会椎茸・購買センター芝芳亀主任から「椎茸の現状と今後の展望」（産地として生き残るために）と題して、パソコンを利用した最新システムによる講話をいただいた。

まず、椎茸の現状として、

- 生産者の高齢化
- 単収・品質の低下
- 生産意欲の低下等による生産量の減少
- 長引く不況
- 中国産輸入椎茸の増加
- 加工品化・インスタ

ント化への対応の遅れによる販売の低迷等、現在の椎茸を取り巻く情勢の急激な変化について説明があり、産地として生き残るための条件として、

- 優良な原木
- 適度な標高を含む豊かな自然環境
- 散水施設・防風ネット・日陰調整・作業道等のほだ場環境整備
- 基本作業
- 雨不足と温暖化への対応
- 消費者ニーズに合う椎茸等の生産技術

等が必要で、肱川町はそのほとんどを備えており、充分生き残れる可能性が高いことを指した。

次に、今後の流通・販売の課題として、中国産椎茸の輸入制限や混入販売の

撤廃を求め続け、味・香り・食感・安心・安全等の国産椎茸の特色を生かし、中国産との差別化を強化しなければならぬこと、また、消費者は相次ぐ大手食品メーカーの偽装販売疑惑により食に対する安全意識が敏感になり追い風が吹いていることを挙げ、私達が行っている椎茸栽培は継続できる生産であり、地球に

優しい資源循環型生産であることに自信を持って取り組んで行こうと誘った。終わりに、肱川流域の豊かな自然環境を活かし、良質なクヌギ原木から良質な原木産乾椎茸を作ることが産地として生き残る条件であると話を締めくくった。

最後に菅野ナカエ女性部長の閉会のあいさつで通常総会を終了した。



椎茸生産はクヌギ林造成から！

乾椎茸市況(松山椎茸市場) 平成14年6月18日市			
市売総数		860ケース	16,750kg
平均単価		3,134円	
銘柄	価格	銘柄	価格
大 厚	4,200~5,500	どんこ大	-----
中 厚	4,000~7,000	どんこ中	4,200~6,000
小 厚	2,800~4,600	どんこ小	3,000~5,400
大 ウス	3,000~6,000	大 バレ	2,000~3,600
中 ウス	3,000~5,600	中 バレ	2,500~4,000
小 ウス	2,600~3,000	小 バレ	1,800~2,500
概況 出物品柄が並~下物中心となった為、平均単価を下げたが相場は全般に保合で推移。依然として軽めの香信、どんこ系は強いが大葉系がやや弱くなった。			

《町内クロケット大会》 スポレク管内大会出場 「大谷A」「小薮A」チーム



老年Ⅰ部「大谷A」
 (浜田雅子・沖田チホ子・浜田 登)



老年Ⅱ部「大谷A」
 (前田 武・矢野 悟・渡邊茂雄)

6月2日(日)に町内クロケット大会が町民運動場で行われました。参加されたチームは、老年Ⅰ部6チーム、老年Ⅱ部7チーム、一般の部6チームの計19チームで、総勢61名で熱戦が繰り広げられました。各部の優勝チームは、10月6日に行われる八幡浜地方大会に出場されます。



一般の部「小薮A」
 (森本茂子・藤井重徳・中居喜代光)

	1位	2位	3位
老年Ⅰ部	大谷A	中央A	小薮B
老年Ⅱ部	大谷A	正山B	岩谷A
一般の部	小薮A	大谷A	大谷B



日頃の練習の成果を...

《町内バレーボール大会》

男子「予子林地区」が2年連続上位を独占 女子2連覇達成「上鹿野川」

6月16日(日)に町内バレーボール大会が各地区体育館で行われました。参加チームは、男子バレー15チーム、女子バレー6チームの計21チーム。実力伯仲で熱戦が繰り広げられました。予子林地区男子3チームは、それぞれのブロックから勝ち残って決勝へ進出し、去年に続いて上位を独占しました。また、上鹿野川女子は、圧倒的な強さで2連覇を達成しました。試合の結果は標記のとおり。



チームワークが自慢の「ヤング予子林」



2連覇達成「上鹿野川」

	1位	2位	3位
男子の部	ヤング予子林	ミドル予子林	予子林イチウリーズ
女子の部	上鹿野川	中央	正山B

生涯学習 第4回手話教室開催

伝え合うのは「ことば」だけではありません

私たちは日常の生活の中で、「これは私の」と指で自分や実物を指差したり、「私怒っているの」とほっぺをプツと膨らませてみせたりして表現することがあります。私たちは自然に、「ことば」と共にいろいろな花草をし、「ことば」を助けているのです。伝え合うのは、ことばだけではありません。コミュニケーションの方法は、手話、身振り、表情、指文字、筆談、絵を描くなどe.t.c. 手話教室に参加した17人は、講師山本仁美さん（大洲市徳森）の講義を毎回熱心に受講していました。今年度は、6月〜7月にかけて交流会を含め4回実施されました。



楽しかった手話教室

大谷小学校3年

源田 亜衣(影地)

手話教室はこども、楽しかったです。手話のほかにもでるというこども分かりました。こどもに「絵やうごきでつたえらのが楽しかったです。手話は、知らないのかたくさんありました。学校にも本があつたけど手話教室の方が分かりやすかったです。家でまたれん習したいです。

親子で参加した手話教室

山内美智恵(月野尾)

小学校から1枚のプリントをもらって帰ってきました。それは、「手話教室」案内のプリント。娘が、「お母さん、私手話教室行きたい」と言いましたが、私はすぐに返事をしませんでした。でも、娘は本当に手話を覚えたかったみたいで1人でも行くといいこれは本気だと思ひ3人で申し込みました。手で話をするという事は大変です。頭の中では理解できてもなかなか指が動きません。それに指で相手に何かを伝える事は難しい事だと思ひました。2回目になると1回目にならぬ事を感じていたので少し楽な気分です。家で帰って早速主人やお姉ちゃんの前で習いたての

手話を自慢そうに教える娘。覚えた事が本当にうれしかったんですよ。4回しかできなかったし、本当に楽しく学ぶ事ができました。ほんの少ししか覚えていませんがこれからも手話の勉強をしたいと思っています。又こんな機会があったら、参加したいと思っています。

はじめての手話

谷田 光枝(敷水)

3月の広報で手話教室の参加者の募集を目にし、自分の為に覚えたいと思ひ参加しました。6月15日、最初の手話教室の日です。不安と期待で心臓は大波小波だったのですが、親しみやすい雰囲気と山本先生の解りやすい指導で、楽しい時を過ごす事が出来ました。基礎を教えて頂いたため、それを組立てゆくと、まがりなりにも手話で話す事が出来るのではないかと思います。聴覚障害で困っていらつしやる方を見かけたら、勇気を出してチャレンジしたいと思ひています。参加された皆さん、山本先生、関係機関の皆さん、本当にありがとうございました。



ファインダー



学校週5日制がはじまって3か月がすぎた。

「ゆとり」がキーワードである。

しかし、今朝も日本人の子ども達の国語力が著しく低下しているとのニュースが流れていた。

基本がおろそかになってはいけません。

「ゆとり」が子ども達の非行や登校拒否等の問題を解決できると考えてはいけません。

わたしは、せめて義務教育の間は、知識のつめこみが必要だと思ひている。

この時期に「ゆとり」はいらない。

勉強はいつだって楽しいものではないし、苦しいやなものである。しかし、それから逃げずに耐えたり、頑張ったりすることが教育の一つだと思ひている。

休みをPTAや地域、公民館に転嫁してはいけません。

社会教育が充実しても公民館活動が活発でもこの「ゆとり」の時間を賄えるものではない。いくら職場が週休2日制になっても家庭教育に頼れるものではない。

現実をしっかりと見つめたい

子育てのヒント

(家庭とは?)

子どもが家で身につけたことは
生涯ずっと生き続ける...

子どもたちのいちばんの願い、
それは何だと思いますか？

「あなたの家庭にもっと望むことがあるか」と子どもたちに聞いたところ、どの年代の子どもでもいちばん多かった答えは「家族のみんなが楽しく過ごす」でした。そんな当たり前のことを子どもたちが願わざるを得ない現実を、親として真剣に受け止めたいものです。

必要なモノさえ与えていれば子どもは育つ、と思えた時代もありましたが、いまや楽しい家庭は家族が意識的に協力し合わなければなかなか得られません。子どもにとって心安らぐ居場所になっているかどうか、家庭を見つめ直してみましよう。



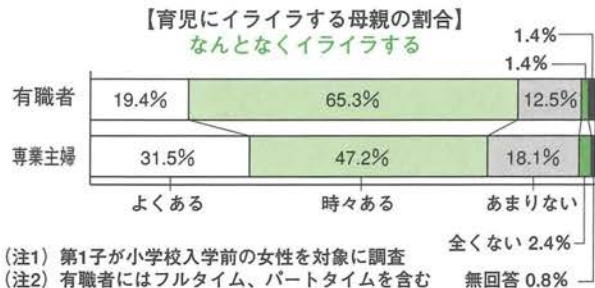
安らぎのある楽しい家庭をつくる

自分を大切にできないならば、
子どもを大切にすることもできない。

子育ては大事ですが、1日中、わき目もふらずに集中しては疲れてしまいます。親のイライラは、子どもにも伝わっていくものです。

大変な子育てだからこそ、自分の時間をつくり、心を健康に保つことが大切です。夫婦で助け合ったり、育児を手伝う仲間や仕組みを活用したりして、リフレッシュする時間をつくりましょう。

親が幸せで笑顔でいる家庭でこそ、子どもも幸せを感じられます。



資料：「国民生活選好度調査」平成10年・経済企画庁

親がまず幸せになる

みんなの幸せを願って

人と同じじゃないと

予子林小 教頭 新田 星児

たくさんの人で何かをするときに、人と違うことをすることは、とても勇気がいります。別に、へそを曲げて全然別のことをするということではありません。やり方が少し違うということなんです。また、着ている服が違ったり、持ち物が違う物だったりすると、不安な気持ちになります。みんなと同じにして、そこに自分を置いて、目立たぬようにするのでしよう。

これは、自分たちと少しでも違うものを排除しようとする危険な考えにつながるものです。なぜこんなことを書く気になったかというところ、小学2年の国語で「スイミー」を勉強したからです。この話は、赤い小さな魚の兄弟達にあって一匹だけ真っ黒のスイミーという魚が強く生きていく話です。最後には、黒いという個性を生かして、赤い魚の兄弟達を指導するのです。子どもたちは、スイミーに同化し、楽しく読み進めていくことができました。

「スイミー」という話は、レオニレオ二というオランダの人が書き、谷川俊太郎という人が訳したものです。「スイミー」の話のほかに、金子みすずという人が書いた「わたしと小鳥と鈴と」という詩が大好きです。その詩の最後に、「みんなちがって、みんないい。」という文があります。まさしくその通りだと思います。



青年団だより

ASUKA

風をおこして～

— 結果表 —

順位	個人順位			総合順位
	名前	スコア	市町村名	市町村名
1	名本憲弘	321	内子町	内子町
2	橋本孝博	306	肱川町	肱川町
3	白岩友和	300	肱川町	五十崎町

我らが肱川町青年団は上位3名のうち2名が入賞しました。
総合順位 第2位!!

平成14年度

喜多郡連合青年団ボウリング大会開催!!

6月29日、郡青年団ボウリング大会に参加しました。ボウリングが下手な私は、転がすのがやっとでしたが、郡青年団のみなさんとたのしくプレーできて良かったです。今後も、スポーツなどの活動を通してみなさんと交流を深めたいと思います。上位入賞者のみなさん県大会頑張ってきてください。
徳本



6月29日、喜多郡連合青年団ボウリング大会が盛大に開催されました。新しい出会い、そして感動の再会ありの楽しいひとときを過ごすことができました。私自身いいスコアが出なくてちよっぴり残念でしたが、どこのレーンもすごく盛り上がっていたので、本当に良かったと思います。みんなありがとう。
山田

郡内の青年団数が減ったこともあり、毎年恒例だったソフトバレーに代わってボウリング大会が行われました。初めての試みだったので、みんな戸惑っていたみたいですが、いざゲームが始まるとあちこちで、笑い声や拍手が飛びかっています。肝心の結果は普通(?)に終わりましたが、すばらしい成績により県大会に進むことになったみなさん、がんばってください。
ナオミ



今回のASUKAはボウリング大会特集ということでしたがいかがだったでしょうか。郡青年団の行事としてはボウリング大会は初めてのことでしたが、参加者全員楽しく交流を深めることができたと思います。さて次回のASUKAでは、郡ソフトボール大会奮闘記をお送りする予定です。お楽しみに!!

あとばなし



社協だより

肱川町社会福祉協議会
 ☎(0893)34-2312

社会福祉協議会は戦後まもない昭和26年に民間の社会福祉活動の強化を図るため、全国、都道府県レベルで誕生しました。

肱川町社会福祉協議会

は、平成元年に社会福祉法人になりました。運営の原則は、地域の住民・社会福祉関係者などの参加・協力を得て活動するのを大きな特徴とし、民間福祉団体として自主性と広く住民や福祉関係者に支えられた公共性という、2つの側面をあわせ持った団体です。事業内容が公共性の高いものであるため、行政の出先機関とよく間違われますが社会福祉協議会は、地域の福祉を私たちひとりひとりが力を合わせて高めたいことを目的とした

民間福祉団体です。

社会福祉協議会は略称として「社協(しゃきょう)」と呼ばれ、全国の市町村単位の設置され、ネットワークにより活動を進めています。

肱川町社協は保健センター内に事務所をもち、事務局2名、ケアマネージャー2名、ヘルパー3名で活動しております。

社会福祉協議会へ

ご芳志

当協議会に、次の方からご寄付を頂きました。

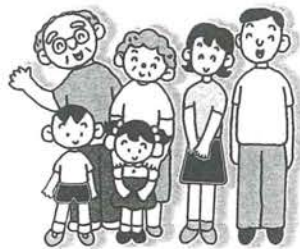
福祉関係事業に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

下嵯谷 寺岡 勝信 様

「社会福祉協議会」ってなあに？

どこに事務所はあるの？

いつからあるの？

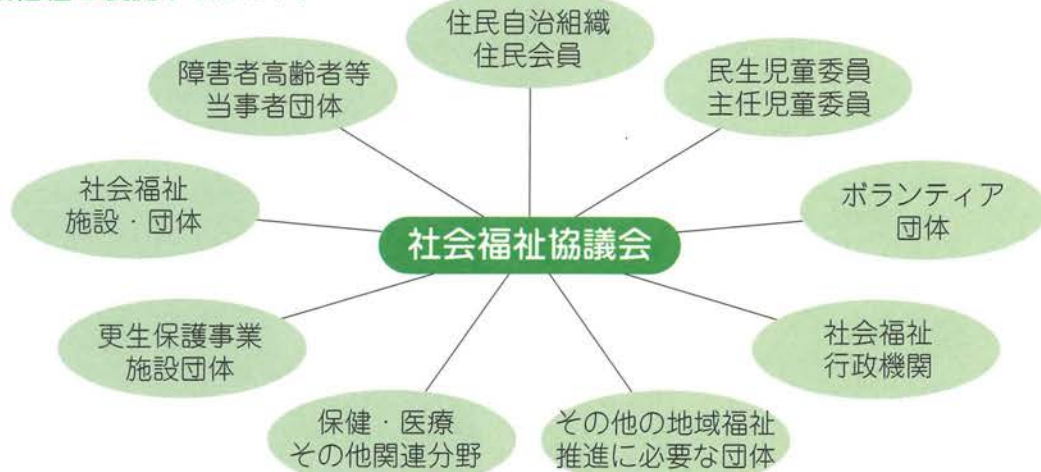


ヘルパーさんのいるところ？

福祉の仕事をしている人？

社協の活動は、多くの人々の手によって支えられています。

地域福祉を展開するメンバー



8月のカレンダー

保健衛生 保健センター ☎34-2340

8月の当直医

種別	日(曜)	行 事	場 所	時 間
成人保健	2(金)	小児生活習慣病 予 防 相 談	保健センター	9:00~
	6(火)	元 気 印 教 室	肱川町公民館	10:00~14:00
	26(月)	リ ハ ビ リ 教 室	保健センター	13:00~16:00
母子保健	20(火)	ムシ歯予防教室	保健センター	9:30~10:30
	21(水)	乳 児 健 診	保健センター	13:00~13:30

	日(曜)	病 院 名	電話番号
一 般	4(日)	池田皮泌科医院	24-3100
	11(日)	清家産婦人科医院	24-6868
		石 村 病 院	52-0275
	18(日)	泉 内 科 医 院	24-6407
救 急	25(日)	松元産婦人科医院	24-3067
	月・火	市立大洲病院	24-2151
	水	加 戸 病 院	24-5101
	木	大洲記念病院	25-2022
	金~日	大洲中央病院	24-4551

*一般の当直医は変更になる場合がありますので
あらかじめ、連絡してからお出かけください。

燃やせないごみ

【収集日】8月15日(木)
*前日までに指定の場所へ

【収集地区】

大 和・中 野・下鹿野川
上鹿野川・八重栗・上森山
京 造・見の越・月野尾
正山地区・岩谷地区
予子林地区

行事予定表

4(日) 環境美化デー
10(土) 鹿野川夏まつり
11(日) ドラゴンボート大会
13(火) 山鳥坂夜神楽
14(水) 大谷・予子林盆おどり大会
15(木) 正山風の祭り
21(水) 定例部落長会
28(水) 町税等出張受入れ

行政相談

【日 時】
8月5日(月)
午後1時30分~4時30分
【場 所】公民館 青年室
【相談員】福田 保

心配ごと相談

8月5日(月)
【相談員】福田 保・富永 武治
8月20日(火)
【相談員】玉井 清・谷本 基子
【時 間】午後1時30分~4時30分
【場 所】公民館 青年室

社会保険一日出張相談所

大洲商工会議所
8月6日(火)・20日(火)
内子町商工会
8月12日(月)・21日(水)

慶 弔

■ おしあわせに ■

(宮川 彰浩さん(久 保)
徳岡由紀子さん(大洲市)

(上岡 康貴さん(共 栄)
内野由紀子さん(大洲市)

■ やすらかに ■

寺岡 定生さん
(86歳・下嵯峨谷一)



田んぼの畦にアジサイ



谷岡友晴さん（小藪）が7年前頃から田んぼの畦に植えたアジサイが、田植えの終わった棚田に彩りを添えています。このアジサイは谷岡さんが挿木で増やしたもので、2〜3年生になった苗を4列

に植えていき、現在では200本ほどになりました。青や白、山アジサイの赤が梅雨空に映え、田んぼの緑とのコントラストも見事です。土壌が酸性のため、石灰をやってもなかなか赤色が出ないのが残念とか。「畦の草刈りの手間を省こうと始めただけよ。」と謙遜されますが、この日（6月16日）の朝も大洲市新谷から写真を撮りに来られたとのことで、次第に観光の名所になりつつあります。

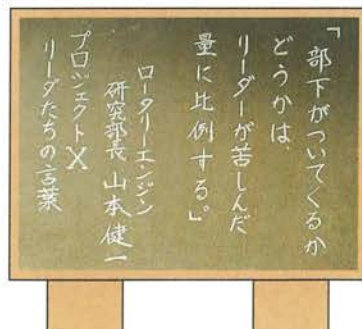


たばこの空き箱で模様傘



谷岡さんはまた、たばこの空き箱で小さな傘を作る達人です。30年前に入院していた時、同室の人が作っていた傘の作り方を参考書などを見て応用し、たばこの空き箱の色や柄を利用して、桜、スズメ、カメ、チヨウチヨ、ダイヤ、渦巻きなどの模様が浮き上がるような作品に仕上がっています。材料は、たばこの空き箱が30枚、傘の骨の部分はつまようじが60本、柄の部分は竹でできています。作業するのは主

今月の板書



に夜ですが、それぞれの模様になるようにピタッと合わせるのがむずかしく、のり付けを乾かす必要もあり、3日ほどかかります。すでに80個以上が作品になり、親しい人に譲っているそうです。谷岡さん自身はたばこを吸われないため空き箱を集めるのが大変のようです。
上の写真中、スズメやカメ、チヨウチヨの図柄やたばこの銘柄がわかりますか？